

浦安中学校避難所開設・運営マニュアル

本マニュアルは、生徒が在校している平日の昼間において、大規模な地震等が発生し、浦安中学校に避難所を開設する場合の初動活動について、避難者（住民）の役割分担を示したものである。

平成28年3月

浦安市立浦安中学校

<はじめに>

浦安市で大きな地震等の災害が発生した場合、建物の被害やライフライン、交通、流通の停止など、相当な混乱の中で被災者は避難所においてかなりの期間、共同生活を過ごすことが予想されます。

その場合、できるだけ混乱や障害をなくしてスムーズな避難所の開設や運営が行われるよう、行政だけでなく、地域自治会、地域住民の代表者やボランティアによる避難所運営を基本とし、行政と連携をとりながら避難所を運営することとなります。

その際、効率的な運営が図られるよう、学校別の避難所マニュアルを作成し、実際の災害に備えておく必要があります。

本マニュアルは、災害発生時において、避難所となる浦安中学校の独自のマニュアルとして作成し、防災備蓄倉庫に常備することとします。

平成28年3月

浦安市立浦安中学校避難所開設・運営マニュアル策定委員会

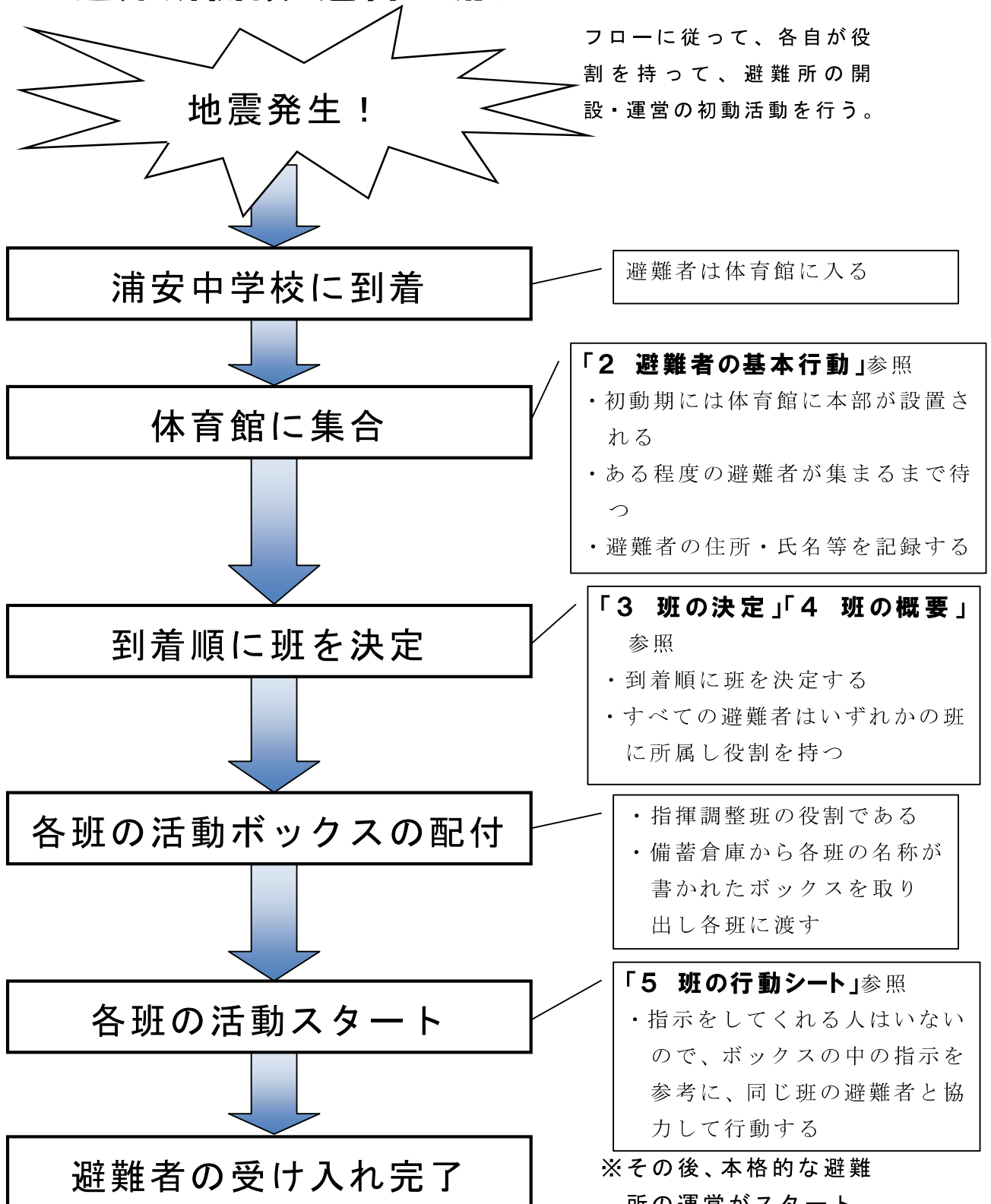
目次

1	避難所開設・運営の流れ-----	4
2	避難者の基本行動-----	5
3	班の決定-----	6
4	班の概要-----	7
5	班の行動シート-----	10

資料

	避難世帯調査票-----	16
	備蓄品一覧-----	17
	避難スペース図-----	18

1 避難所開設・運営の流れ



※その後、本格的な避難所の運営がスタートします

2 避難者の基本行動

- ① 自治会の防災担当者は指揮調整班を組織し、体育館内に本部を設置する。
- ② 避難者はいったん体育館に入る。体育館へは4つの扉のどこからでも入れるようにする。
- ③ 履いてきた靴は、体育館入口で脱ぎ、そのまま手に持って体育館に入る。体育館内にガラスの破損等が見られる場合は、靴のまま入る。
- ④ 避難者は、誘導指示に従い、体育館に設置された本部に住所や氏名等を報告する。
- ⑤ 本部は、避難者の住所や氏名等を記録する。報告を終えた避難者は、指示に従い待機場所で待機する。
- ⑥ 本部は、避難者がある程度集まったら、班を構成し避難者に班番号と役割を告げる。
- ⑦ 班番号や役割を与えられた避難者は、班ごとに避難スペースへ移動する。その際、小学校に通学している児童がいる避難者は、体育館ステージにて児童を引き取り、班に合流する。
- ⑧ 避難スペースでは、机や椅子を指定された廊下に搬出してスペースを確保する。
- ⑨ 班の代表者は、避難スペースの入口に班のメンバーの氏名を書いた表を貼る。
- ⑩ 班の代表者は、班のメンバーと共に班としての役割を確認し、任務を忠実に遂行する。
- ⑪ トイレや水道は、使える状態であっても使用禁止とする。仮設トイレや給水車等が準備されるまで待つ。
- ⑫ 配給物資は班ごとに保管し、分かち合って使用する。

- ⑬ ペットは体育館や校舎内への持ち込みはできない。飼い主の責任において保護する。

3 班の決定

- ① 体育館内の本部に住所と氏名を報告した後、避難者は本部から班番号と班としての役割を与えられる。
- ② 班のメンバーと共に避難スペースに移動し、避難所開設の活動を行う。
- ③ 班の役割の割当ては、本部に報告した順番に下の表のように割り当てる。
- ④ 原則として、各班のもっとも若い番号の避難者は、リーダーとなって班員への指示や本部等との連絡調整の役目を果たす。
- ⑤ 設置する班の役割は、以下の5種類とする。
- ⑥ 北栄4丁目は奇数班、海楽2丁目は偶数班とする。その他の地域は100番台からとする。

◆ 班番号と班の役割割り当て表（例）

	A 指揮調整班	B 避難者誘導班	C 施設点検班	D 仮設トイレ設置班	E 備蓄資材・機材確認班
班番号	1, 2, 3, 4 13, 14 23, 24	5, 6, 15, 16 25, 26	7, 8, 17, 18	9, 10, 19, 20	11, 12, 21, 22

27以降は2班ずつC⇒D⇒E⇒A⇒B・・・と割り当てる。ただし、活動状況を見て本部が調整する。

4 班の概要

班の活動の内容は以下のとおりです。具体的な行動は、「5 班の行動シート」を参照してください。

A 指揮調整班

- ① 校長、教頭等の学校関係者と連絡をとり、避難所開設のための調整を行い、何を行うのか必要事項を決める。
- ② 各自治会長や各自治会の防犯担当者は、指揮調整班に所属し、体育館のステージ前に本部を設ける。
- ③ 指揮調整班は、避難所の本部を運営する。
- ④ 避難者の住所・氏名を記録し、班及び役割を指示する。
- ⑤ 各班の活動状況を常に把握し、必要な指揮・調整を行う。
- ⑥ 外部機関との連携を行い、災害の状況等の情報を提示する。

B 避難者誘導班

- ① 避難者に体育館内での動きについての誘導を行う。避難者は本部に住所・氏名を報告した後、誘導班の指示に従って体育館内で待機する。
- ② 避難者に避難スペースまでの案内を行う。
- ③ 避難スペース内での準備等の指示や確認を行う。
- ④ 避難スペース入口の名簿を常に確認する。そのことによって避難者数や世帯数を確認し、本部に報告する。

C 施設点検班

- ① 学校や教育委員会等の行政と協力して、避難所全体の安全点検を行う。

- ② 立ち入り禁止場所、使用禁止施設の表示を行う。必要ならば危険箇所に立ち注意を呼びかける。

D 仮設トイレ設置班

- ① 備蓄倉庫から仮設トイレを搬出する。
- ② 校庭の浦安高校側に仮設トイレを設置する。

E 備蓄資材・機材担当班

- ① 備蓄倉庫の資材や機材の有無を確認する。
- ② 本部と連携をとり、各避難スペースに備蓄資材を配付する。
- ③ 給水を待つ避難者の誘導整理を行う。

5 班の行動シート

A 指揮調整班（本部）

◆ 設置場所：体育館ステージ前

◆ 行 動

- ① 最初に到着した自治会の代表（自治会長や防災担当者）は、校長、教頭等の学校関係者と連絡を取り、避難所開設のための準備を行う。
ホワイトボードや机、椅子等を出し本部を設置する。
- ② 体育館にて、次々と来る避難者に、到着順から本部に住所や氏名を報告するように誘導する。報告が終わった避難者には、待機場所で待機するよう指示する。
- ③ 必要な人数が集まったところから、班の番号を割振り、役割も割り当て、行動を指示する。班員を確認次第、B避難所誘導班にバトンを渡す。
- ④ ホワイトボードに、班番号や役割、避難スペースとなる教室の位置などを書く。また避難スペース図を貼る。
- ⑤ 災害の情報をラジオ等から入手し、ホワイトボード等を使って避難者に知らせる。
- ⑥ 避難世帯数等の取りまとめを行い、派遣されてきた市職員や校長に報告する。
- ⑦ C施設点検班より得た立ち入り禁止エリアの情報を避難者に知らせる。
- ⑧ 各班のリーダーから得た活動状況を取りまとめる。状況によって次の指示を与える。
- ⑨ 避難所の状況を、市職員や校長、教頭に報告する。

A 指揮調整班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
	数	脚	
机			体育館ステージ上から
ホワイトボード	1	台	体育館ステージ脇から
「本部」貼紙	1	枚	ステージ横に貼る
避難スペース図	数	枚	ホワイトボードに貼る
避難者名簿	数	枚	避難者の住所・氏名・世帯数などを記録する
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「指揮調整班」

B-1 避難者誘導班 1 (体育館内)

◆ 担当場所：体育館までの通路、体育館内

◆ 行 動

<体育館まで> 1～2名

① 誘導ボード1を持ち、校門から体育館までの案内をする。

<体育館内> 4～5名

② 誘導ボード2を持ち、本部への誘導をする。

③ 本部への報告が終わった避難者を、班ごとにまとめ待機させる。

B-1 避難者誘導班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
誘導ボード1	1	枚	「まずは体育館内の本部へ」
誘導ボード2	1	枚	「本部での手続きをお願いします」
班番号	数	枚	体育館の内壁に貼る
誘導ボード3	1	枚	「班が決まった方は校舎へ」
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「避難者誘導班」

B-2 避難者誘導班2（体育館～校舎、校舎内）

◆ 担当場所：体育館から校舎までの通路、校舎1階

◆ 行 動

<体育館から校舎までの通路>

④ 誘導ボード3を持ち、渡り廊下から校舎へ誘導する。

<校舎1階>

⑤ 誘導ボード4を持ち、避難スペースへの行き方を説明し誘導する。

<校舎2階、3階>

⑥ 教室入口に張り紙を貼る。また避難世帯数表示も貼る。さらに立ち入り禁止区域にも表示する。

⑦ 廊下や階段等に誘導張り紙を貼る。

B-1 避難者誘導班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
誘導ボード3	1	枚	「班が決まった方は校舎へ」
誘導ボード4	1	枚	「奇数班は3階へ、偶数班は2階へ その他の地域も2階へ」
教室入口張り紙	数十	枚	「北栄4丁目」「海楽2丁目」 「その他の地域」 「立入禁止」など
廊下・階段誘導張り紙	数十	枚	「北栄4丁目は3階へ」 「海楽2丁目はこちらへ」 「その他の地域はこちらへ」など
避難世帯数表示	20	枚	各教室に避難している世帯数を記録する
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「避難者誘導班」

C 施設点検班

◆ 担当場所：校内巡回

◆ 行 動

<校舎・校庭・体育館、プール、武道場>

① 被害状況を確認する。

・ ガス漏れ、出火、薬品漏れの確認

1階 用務員室、家庭科室、保健室、その他ストープ

2階 理科室、理科準備室

・ 亀裂、倒壊、崩壊の確認

校舎の壁、廊下、天井、柱、校庭のフェンス、樹木、液状化、浸水
体育館の天井、壁、プールの壁、底、武道場の壁、天井など

・ 破損の確認

校舎内蛍光灯、窓ガラス、鏡、落下物など

・ 校門の倒壊、破損の確認

緊急車両が入れるか

② 水道に使用禁止の表示をする。蛇口をガムテープ等で塞ぐ

③ トイレ入口にテープで使用禁止の表示を行う。

④ 点検結果を本部に報告する。

⑤ 外国語の表示に配慮する。

C 施設点検班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
施設点検チェックリスト	数十	枚	
ガムテープ	数	個	使用禁止、危険区域など
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「施設点検班」

D 仮設トイレ設置班

◆ 担当場所：校庭（浦安高校側側溝前）

◆ 行 動

- ① 防災倉庫を開け、仮設トイレを搬出する。
- ② 浦安高校側側溝前に仮設トイレを設置する。
- ③ 仮設トイレを1基5人くらいで組み立てる。
- ④ 電灯やトイレトーパーを設置する。
- ⑤ 男性用、女性用の区別を表示する。
- ⑥ 設置状況を本部に連絡する。

D 仮設トイレ設置班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
	数	枚	
トイレ案内図	数	枚	トイレまでの誘導用
トイレ表示	数	枚	男女別の表示
セロテープ	1	個	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「仮設トイレ設置班」

E 備蓄資材・機材確認班

◆ 担当場所：防災倉庫（備蓄倉庫）

◆ 行 動

- ① 防災倉庫内の備蓄資材・機材一覧表を元に、有無や数量を確認する。
- ② 確認後本部に報告する。
- ③ 不足分の充当などがあった場合、防災倉庫に搬入する。

E 備蓄資材・機材確認班必要品一覧

必要品	個数		準備及び使用方法
備蓄資材・機材一覧表	1	部	
チェック表	数	部	
鉛筆	1	式	
腕章	数	個	「備蓄資材・機材確認班」

資 料

避難世帯調査票（避難世帯・帰宅困難者）

避難所名					整理区分			
1	世帯代表者名				住所			
2	入所年月日	年	月	日	電話	自宅 携帯		
	(ふりがな) 氏名	性別	年齢	続柄	勤務先 就学先	既往症・アレルギー等	援護	
		男・女	歳				要 否	
		男・女	歳				要 否	
		男・女	歳				要 否	
		男・女	歳				要 否	
		男・女	歳				要 否	
		男・女	歳				要 否	
	避難所居住の要否		要 ・ 否					
	食料・物資の供給希望		有（食料・物資）・無					
緊急連絡先		住所						
		氏名						
		電話						
3	防災機関以外からの問い合わせに対し、住所・氏名などを公表してよいか				よい・よくない			
4	退出年月日	年	月	日	備考			
	転出先	自宅・その他						
		住所						
		氏名						
電話								

記載された内容については、防災関係機関で必要な場合に限り使用することを承諾します

記載者名

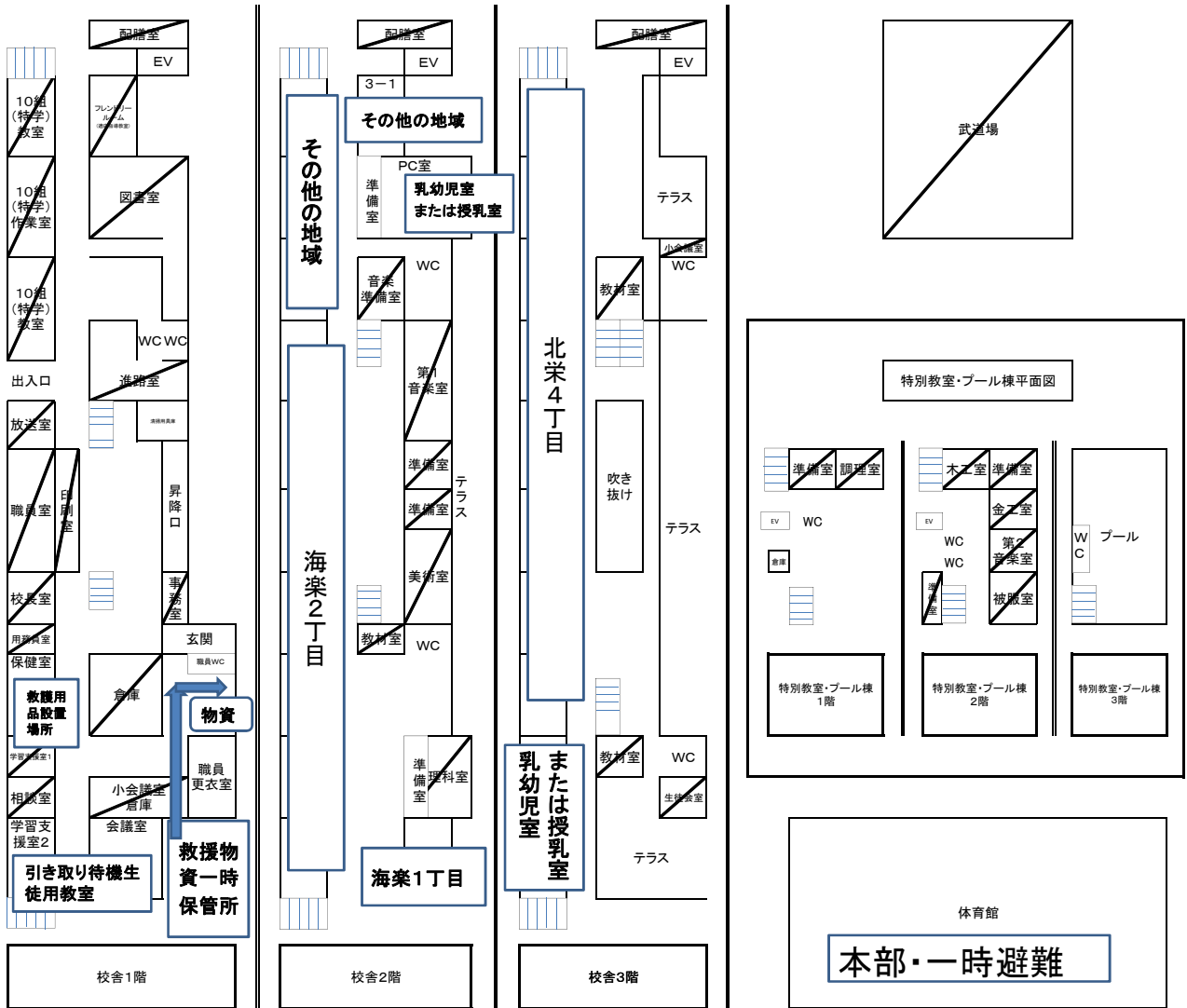
備蓄品一覧

備蓄品名	数量	単位	チェック	保存状態・不足数など
組み立て式トイレ		台		
リヤカー		台		
発電機		台		
テント		張		
浄水器		台		
炊飯器		台		
サバイバルフーズ		箱		
保存飲料水	10	箱		
紙コップ		個		
紙ボール		個		
スプーン		本		
炊飯袋		袋		
四つ折伸縮担架		台		
災害用救急箱		箱		
災害備蓄用毛布		枚		
災害備蓄用マット		枚		
救急シート		枚		
生理用品		袋		
寝袋		個		
ハンドマイク		台		
投光器セット		台		
強力ライト		台		
コードリール		台		
災害備蓄用かまど		台		
木炭 6 kg		箱		
炭 6 kg		箱		
防水シート		枚		

確認後は本部に報告すること

浦安中学校 避難スペース図

2020 1月10日改訂



← グラウンド側

特別教室・プール棟・体育館側 →